



その他の関係様式

行政視察結果報告書

行政視察結果報告書

令和5年 3月 8日

高島市議会議長

高木 広和 様

高島市議会議員 今城 克啓

行政視察の結果について（報告）

行政視察の結果について下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和5年2月10日 13時30分～17時
- 2 視 察 先 第25回地方自治セミナー
(敦賀駅オルパーク2階 福井県敦賀市鉄輪町1丁目1-19)
- 3 視察目的 公民連携で地域を活性化した事例を学ぶことによって、
高島市の地方自治についての政策づくりに活かす。
- 4 調査内容
 - ・民間事業者との連携によるふるさと納税の取り組み
 - ・民間事業者との連携による未婚化対策、公民連携ワンストップ対話窓口、郵便局での行政窓口、あらゆる公有財産の民間事業者による活用など、時代の変化に対応した公民連携の取り組み
- 5 参加者 今城克啓

第25回 地方自治セミナー

日時 2023年2月10日(金)
13時30分より
場所 敦賀駅オルパーク2階

本日の次第

13:30 開始

13:30~13:45 (15分)

しわやゆうこ氏による コーチングセミナー
ラジオパーソナリティ・トラストコーチングスクール認定コーチ
あなたの目標に向けて対話を通して寄り添いながら、目標のゴールに向かって一緒に伴奏するコーチングを行っている。

13:45~14:25 (40分)

前川和治氏による ふるさと納税セミナー
企業版ふるさと納税 rive 認定講師
自治体の魅力を全国に発信し、個人・企業から自治体を応援していただく「個人版・企業版ふるさと納税」に注力。個人・企業版ふるさと納税の拡大に取り組んでいる。

14:25~14:45 (20分間休憩)

14:45~16:55 (140分) 途中10分休憩2回あり

伊藤徳宇氏による 公民連携セミナー
コラボ・ラボ桑名(公民連携ワンストップ対話窓口)の導入など、桑名市では、これまでの考え方や価値観にとらわれない、時代の変化に対応した施設整備・運営を目指している。

17:00 終了

地方自治学習会

Local autonomy learning

講師プロフィール

【講師プロフィール】 伊藤徳宇・桑名市長

伊藤 徳宇(いとう なるたか) 1976年(昭和51年)11月3日 三重県桑名市長3期目
早稲田大学 政治経済学部経済学科卒
大学卒業後、フジテレビジョンに就職。同社では、主として営業や衛星放送の番組編成などを担当。議員の仕事について「街をプロデュースする仕事だよ」と語るのを聞き、政治に関心を抱く。
2006年より 桑名市議会議員2期
2012年より 桑名市長 3期目
コラボ・ラボ桑名(公民連携ワンストップ対話窓口)の導入など、桑名市では、社会をとりまく状況が変化中、誰一人取り残さない持続可能な社会を実現していくため、これまでの考え方や価値観にとらわれない、時代の変化に対応した施設整備・運営を目指している。

【講師プロフィール】 前川和治・敦賀市議

前川和治(まえがわ かずはる) 1977年(昭和52年)12月31日 敦賀市議会議員4期目
京都建築大学校 建築科卒
2007年より 敦賀市議会議員
2022年より 企業版ふるさと納税 rive 認定講師
自治体の魅力を全国に発信し、個人・企業から自治体を応援していただく「個人版・企業版ふるさと納税」に注力。寄付して終わりの関係ではなく、寄付からはじまる親戚づきあいを信条に、個人・企業版ふるさと納税の拡大に取り組んでいる。

【講師プロフィール】 しわやゆうこ・ラジオパーソナリティ・トラストコーチングスクール認定コーチ

しわやゆうこ 1982年(昭和57年)11月16日
ラジオパーソナリティ・トラストコーチングスクール認定コーチ
武庫川女子大学 日本語日本文学科卒
兵庫県で生まれ育ち、大学時に、大好きな音楽ラジオ番組のアシスタントディレクター経験を経て、制作会社へ就職。朝日放送の朝と夕方の情報テレビ番組を担当。
大切な人とより深くかかわることができるコーチングを学びたいと考えるようになりトラストコーチングスクール認定コーチとなる。
現在は、対話を通して寄り添いながらクライアント様のゴールに向かって一緒に伴奏することを続けている。

地方自治学習会

Local autonomy learning

行政視察結果報告書の5. 調査内容について

1. ふるさと納税セミナー 敦賀市議会議員 前川和治氏

(1) 調査によって得られた内容

- ・ふるさと納税の取り扱いも含めて外部に営業し外貨を獲得するために、全国的に地域商社を立ち上げる動きがある。
- ・返礼品をきっかけにして、ふるさと納税者とのお付き合いをいかに続けるかが重要。
- ・お付き合いを深めるために、返礼品として、例えばコワーキングスペースの活用や買い物年パスなどの工夫をしている例がある。
- ・返礼品事業者に積極的に応募するべき。

(2) 質問と回答

- ・質問：敦賀市のふるさと納税を伸ばした主な原因は？ 返礼品の目玉は？
- ・回答：楽天サイトを十分に活用している。また、カニを返礼品の目玉にしていることが、アピール力を高めていると考えられる。

(3) 市政にどのように活かせるか

調査によって得られた内容 4 点は高島市にも適用できると考える。今後、議員活動や議会活動において、次のとおり活用していきたい。

- ・ふるさと納税と関係人口づくりを効果的に連携させながら進めるための施策提案。
- ・地域商社の立ち上げのついで提案。

なお、調査によって得られた内容の一部は、令和 5 年 3 月議会の一般質問の内容に取り入れることができた。

2. 公民連携セミナー 桑名市長 伊藤徳宇氏

(1) 調査によって得られた内容

①基本的な施策の組み立て方

重要度と満足度を重要な切り口にして、優先順位を決定している。

行財政改革や公民連携による民間財源の活用などによって歳出を削減して経常収支比率を下げて、子育て支援の財源を捻出している。

その結果、18 歳までのこども手当を実現している。

②市役所における公民連携の機能

- ・各部署の窓口で対応することができるだけ避ける。
- ・縦割りにならないような調整機能が必要。
- ・公民連携の専門部署を充実させる方針で、公民連携ワンストップ対話窓口を設置している。
- ・各支所に、まちづくり拠点施設の機能を持たせている。

③公民連携の例

- ・郵便局で行政手続き
- ・公共施設や空き地を民間事業者による飲食事業や温泉事業に活用。民設民営も行っている。
- ・社協の施設を、社協と民間企業（大和リース）の JV によって、多世代共生型施設「桑名福祉ビレッジ」として再生。児童発達支援センターも入っている。
- ・市役所前の広場や駐車場を、タイムズの駐車場にした。

④公民連携導入にあたっての工夫（参加者からの質問への回答を含む）

- ・民間の裁量を最大限にすることが望ましい。
- ・市の施設についてのすべての情報を、常に開示・公開している。
- ・平時から、常にサウンディング調査を実施し提案を受けている。
- ・テーマ型、フリー型など、活用方法のタイプ分けを行っている。
- ・PFIではなく、連携協定による活用を行っている。PFIは民間のスピードに対応できないことがあり、あまりおすすめできない。
- ・公民連携が失敗する原因としてよくあるのは、行政と民間との対話が不十分であること。
- ・大きな取り組みよりも、小さい成功事例の積み重ねが重要。

（２）市政にどのように活かせるか

調査によって得られた内容①②④のすべてが高島市にも適用できると考える。また、③はそのまま高島市に適用することが難しいものの、高島市での具体的な取り組みの参考になると考えられる。今後、議員活動や議会活動において、次のとおり活用していきたい。

- ・高島市の公共施設や公有財産の維持管理費を削減しながら活用するにあたって、民間の力を最大限活かす方法についての施策提案。
- ・公共施設以外にも、近江今津駅前や安曇川駅前などのまちづくりにあたって、民間の力を最大限活かす方法の提案。
- ・縦割りを乗り越えて民間の力を活かすための市役所の組織改革の提案。





